平成 19 年度　秋期　情報セキュリティアドミニストレータ試験　解答例

午後 II 試験

問１

出題趣旨
新たな経営課題と施策を理解したうえセキュリティ対策を実施するという，企画・経営補佐的なセキュリティアドミニストレータ像が，IT の高度利用を目指すために重要となっている。 本問では，こうした背景を踏まえ，近年話題の経営改革手段を題材に，セキュリティ企画能力，セキュリティ技術基本能力，情報技術基本知識，経営基本知識，及びこうした全社施策の推進能力・経験を問う。

設問		解答例・解答の要点		備考
設問１	**(1)**	**a**	盗聴　又は　改ざん　又は　漏えい	
		b	遮断　又は　制限　又は　ブロック	
		c	ウイルス定義ファイル　又は　パターンファイル　又は　シグネチャ	
		d	クリアデスク　又は　物品の保管管理　又は　盗難防止	
		e	抑止力　又は　予防効果　又は　けん制	
	(2)	**のぞき見対策**	・のぞき見防止フィルタ ・プライバシフィルタ ・偏光フィルタ	
		置忘れ対策	・ディスクの暗号化とパスワード認証 ・BIOS による起動パスワードの設定	
設問２		・社員証の常時着用 ・Q 社専用の ID ケースの着用		
設問３	**(1)**	適切なユーザ属性グループを設定し，ネットワーク資源へのアクセス権を登録する。		
	(2)	社内ポータルシステムに不具合が起こると，基幹システムが全く利用できない。		
設問４	**(1)**	・試行対象の D 事業部は，午後出勤が多く，システム利用の集中時間がないので，全社展開時に性能が出ない。 ・D 事業部は出勤時刻が不規則なのでログインが集中しないが，全社展開すると 9 時前に集中し，問題が起こる。		
	(2)	**心配な点**	誤って他部署のプリンタに出力し，他部署の人に印刷物を見られてしまう。	
		技術的なセキュリティ対策	・認証機能付きのプリンタを導入する。 ・近くのプリンタでしか印刷できないようネットワークで制御する。	
設問５		・セキュリティ対策に関してユーザが行うべき事項についての通知を，プッシュ型で情報を通知する機能を用いて行う。 ・セキュリティパッチやウイルス対策ソフトのアップデート依頼をプッシュ型で行う。 ・プッシュ型で，重大なセキュリティ問題についての対応方法を通知する。		

問2

出題趣旨
この問題では，情報システムを統合する際のアクセス権限や認証に関する情報セキュリティの再構築の問題を背景に，一般利用者の認証とアクセス管理，及び管理業務に必要となるアクセス権限についての経験を問うこととした。また，アクセス権限を付与する考えの背景には，内部統制の強化がある。 本問では，内部統制の基本としてのアクセス管理は，情報セキュリティアドミニストレータが扱うべきものとして，基礎的な知識などを問う。

設問			解答例・解答の要点	備考
設問1	(1)	**ア**	R	
		イ	R	
		ウ	RW	
	(2)	**a**	運用業務との独立性	
	(3)	**d**	就業規則	
設問2		① ②	・運用者が，プログラムを勝手に変更して，それを実行することを防止できる。 ・保守者が，担当業務外のデータをバックアップして持ち出すことを防止できる。 ・保守権限を有する開発者が，変更中のプログラムを誤って実行することを防止できる。	
設問3	(1)	B		
	(2)	**b**	リバースプロキシサーバ2	
		c	プロキシサーバ	
	(3)	PC の画面及び操作内容をネットワーク管理サーバ1を経由して監視する。		
設問4		V 社の社員の行動を監視カメラで監視する。		
設問5	(1)	**番号**	Ⅱ.2.(2)	
		業務内容	Web 会員 DB とクレーム DB の一部を USB メモリで社外に持ち出していること	
	(2)	・バックアップテープをデータセンタと本社にそれぞれ保管する。 ・本社 LAN にサーバを設置して，主要 DB のバックアップデータを転送して保存する。		
	(3)	社員の Web 閲覧の監視の実施		
	(4)	**新たに生じるリスク**	V 社が R 社の会員情報や機密情報を扱うことによる漏えいや改ざん	
		具体的な管理策	・V 社に対して，重要度 A，B の情報の取扱いについてセキュリティポリシの管理内容を遵守するように契約に追記する。 ・V 社に対して，外部による情報セキュリティ監査の受査及び結果の報告を求める。	